

中小企業景況調査報告書

2019年7～9月期実績
2019年10～12月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。
調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

- (1) 調査対象時期等
 - ①調査対象時期：2019年7～9月期の実績(9月見込)2019年10～12月期見通し
 - ②調査期間：2019年8月23日～9月1日 ※調査時点は2019年9月1日
- (2) 調査方法
 - ①商工会の経営指導員等による訪問面接調査
 - ②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。
- (3) 調査対象商工会
 - ①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別枝幸町、安平町、更別村
 - ②人口10,000～29,999人・・・七飯町、斜里町、湧別町、新ひだか町、幕別町、釧路町、別海町
 - ③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	51	48	94.1%	小売業	89	83	93.3%
建設業	50	45	90.0%	サービス業	110	104	94.5%
				合計	300	280	93.3%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

- (5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？
前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。
例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は50-20=(+)30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比				今 期 比	
	今期	来期見込	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6	今期	来期見込
製造業	6.6	▲ 7.4	0.0	▲ 7.0	▲ 20.0	▲ 7.0	▲ 4.6	▲ 8.9
建設業	0.0	▲ 16.0	▲ 2.5	0.0	▲ 11.9	13.6	▲ 2.3	▲ 13.4
小売業	▲ 37.0	▲ 39.3	▲ 26.9	▲ 34.4	▲ 38.0	▲ 20.9	▲ 22.6	▲ 35.6
サービス業	▲ 21.8	▲ 18.2	▲ 25.5	▲ 33.4	▲ 29.4	▲ 33.0	▲ 11.6	▲ 22.1

3. 北海道内商工会地域の状況

製 造 業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6	今期	来期見込
業況	好転した	19.6	14.6	11.6	15.0	9.3	13.6	13.3
	不変	67.4	63.4	69.8	50.0	74.4	68.2	64.5
	悪化した	13.0	22.0	18.6	35.0	16.3	18.2	22.2
	D・I	6.6	▲7.4	▲7.0	▲20.0	▲7.0	▲4.6	▲8.9
売上(加工)額	増加した	34.0	25.0	31.1	14.0	46.8	40.4	
	不変	38.3	47.9	33.3	20.9	36.2	31.9	
	減少した	27.7	27.1	35.6	65.1	17.0	27.7	
	D・I	6.3	▲2.1	▲4.5	▲51.1	29.8	12.7	
資金繰り	好転した	10.9	10.6	8.9	7.5	8.5	6.5	
	不変	84.8	74.5	75.5	77.5	89.4	89.2	
	悪化した	4.3	14.9	15.6	15.0	2.1	4.3	
	D・I	6.6	▲4.3	▲6.7	▲7.5	6.4	2.2	
原材料仕入単価	上昇した	48.9	42.6					
	不変	46.8	53.1					
	低下した	4.3	4.3					
	D・I	44.6	38.3					
採算(経常利益)	好転した	13.0	10.6					
	不変	69.6	70.3					
	悪化した	17.4	19.1					
	D・I	▲4.4	▲8.5					

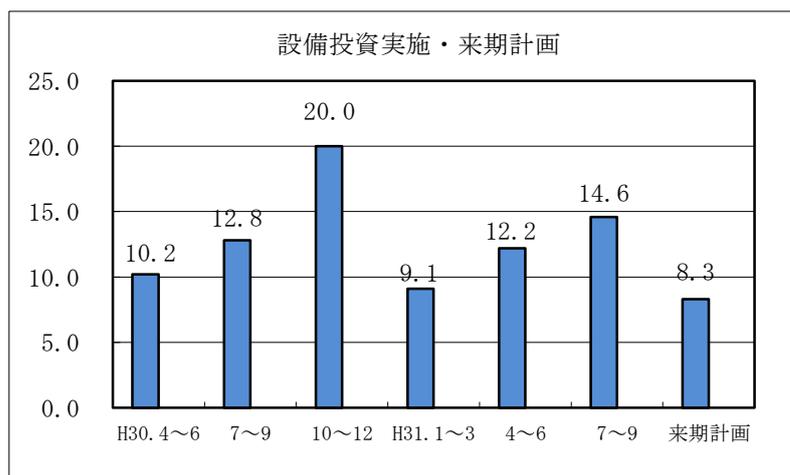
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答48事業所の内、7事業所(14.6%)が実施。●生産設備、OA機器=各4事業所、●土地、工事建物=各2事業所、●付帯施設、福利厚生施設=各1事業所

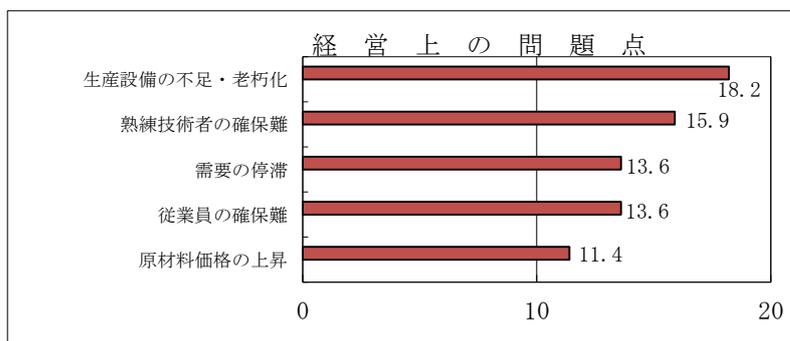
【来期計画内容】

回答48事業所の内、来期に4事業所(8.3%)が計画。●生産設備=3事業所、●付帯施設=2事業所、OA機器、福利厚生施設=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

今回1位「生産設備の不足・老朽化」は前回3位4.9ポイント増加し、2位「熟練技術者の確保難」は番外から13.7ポイント増加した。今回3位「需要の停滞」は前回2位から2ポイント減少、同じく3位の「従業員の確保難」については前回4位から0.3ポイント増加。「製品ニーズの変化」は6.8%で番外となっており、代りに「原材料価格の上昇」が11.4%で5位となっている。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6	今期	来期見込
業況	好転した	8.9	4.5	11.9	4.8	25.0	9.3	2.2
	不変	82.2	75.0	76.2	78.5	63.6	79.1	82.2
	悪化した	8.9	20.5	11.9	16.7	11.4	11.6	15.6
	D・I	0.0	▲16.0	0.0	▲11.9	13.6	▲2.3	▲13.4
完成工事（請負工事）額	増加した	13.3	11.1	24.4	18.6	37.7	34.9	
	不変	57.8	73.3	51.2	37.2	35.6	53.5	
	減少した	28.9	15.6	24.4	44.2	26.7	11.6	
	D・I	▲15.6	▲4.5	0.0	▲25.6	11.0	23.3	
資金繰り	好転した	6.8	6.8	7.5	2.4	15.9	7.1	
	不変	86.4	84.1	87.5	88.1	75.0	88.1	
	悪化した	6.8	9.1	5.0	9.5	9.1	4.8	
	D・I	0.0	▲2.3	2.5	▲7.1	6.8	2.3	
材料仕入単価	上昇した	40.9	43.2					
	不変	59.1	54.5					
	低下した	0.0	2.3					
	D・I	40.9	40.9					
採算（経常利益）	好転した	6.7	4.4					
	不変	77.7	77.8					
	悪化した	15.6	17.8					
	D・I	▲8.9	▲13.4					

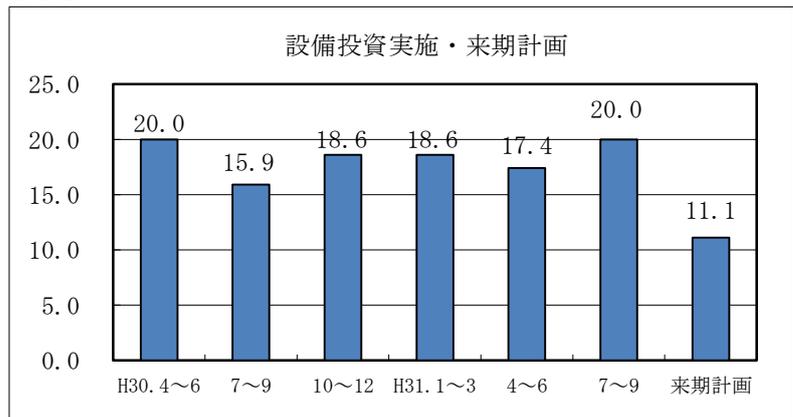
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答45事業所の内、9事業所（20.0%）が実施。●車両・運搬具=3事業所、●建設機械、OA機器、その他=2事業所、●付帯施設=1事業所

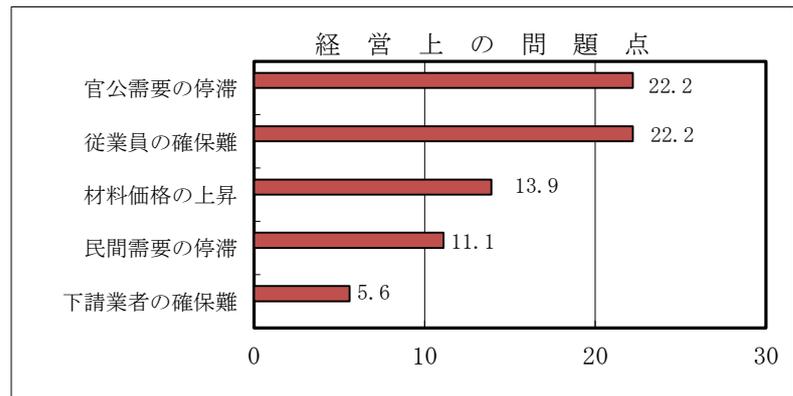
【来期計画内容】

回答45事業所の内、来期は5事業所（11.1%）が計画。●車両・運搬具=2事業所、●建設機械、付帯施設、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位「官公需要の停滞」は前回より2.8ポイント減少、同じく1位の「従業員の確保難」についても13.9ポイント減少した。3位は前回同様「材料価格の上昇」で増減はなし。4位の「材料価格の上昇」は5.3ポイント増加。4位の「民間需要の停滞」は前回番外で11.1ポイント増加した。5位も前回番外であった「下請業者の確保難」で2.7ポイント増加の5.6%であった。前回4位の「熟練技術者の確保難」と「人件費の増加」は番外となった。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H30. 10-12	H31. 1-3	H31. 4-6	今期	来期見込
業 況	好転した	6.2	2.5	4.7	1.7	9.7	6.7	3.9
	不 変	50.6	55.7	56.2	58.6	59.7	64.0	56.6
	悪化した	43.2	41.8	39.1	39.7	30.6	29.3	39.5
	D・I	▲ 37.0	▲ 39.3	▲ 34.4	▲ 38.0	▲ 20.9	▲ 22.6	▲ 35.6
売上額	増加した	15.9	2.4	27.8	15.7	26.0	22.9	
	不 変	34.1	50.0	29.2	38.6	44.1	42.2	
	減少した	50.0	47.6	43.0	45.7	29.9	34.9	
	D・I	▲ 34.1	▲ 45.2	▲ 15.2	▲ 30.0	▲ 3.9	▲ 12.0	
資金繰り	好転した	2.4	4.9	1.4	1.4	2.6	6.1	
	不 変	68.3	64.6	74.7	71.1	79.0	67.1	
	悪化した	29.3	30.5	23.9	27.5	18.4	26.8	
	D・I	▲ 26.9	▲ 25.6	▲ 22.5	▲ 26.1	▲ 15.8	▲ 20.7	
商 品 仕入単価	上昇した	28.0	32.1					
	不 変	68.3	64.2					
	低下した	3.7	3.7					
	D・I	24.3	28.4					
採算(経 常利益)	好転した	2.4	1.2					
	不 変	53.7	55.6					
	悪化した	43.9	43.2					
	D・I	▲ 41.5	▲ 42.0					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

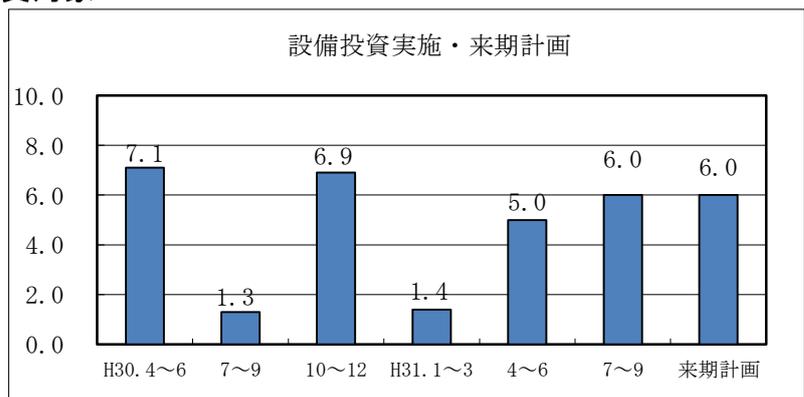
回答83事業所の内、5事業所(6.0%)が計画。

- 販売設備、OA機器=3事業所、
- 店舗、車両・運搬具、その他=1事業所

【来期計画内容】

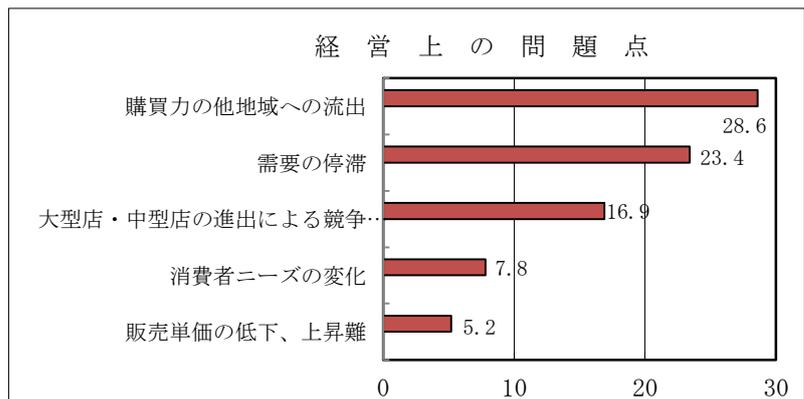
回答83事業所の内、来期は5事業所(6.0%)が計画。

- 販売設備=各2事業所、●店舗、車両・運搬具、付帯施設、OA機器、その他=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

今回1位も前回同様「購買力の他地域への流出」だったが3.9ポイント減少した。2位と3位は前回と入れ替わり「需要の停滞」は前回3位15.6%より7.8ポイント増加、「大型店・中型店の進出による競争の激化」は前回2位22.1%より5.2ポイント減少した。4位は前回と変わらず「消費者ニーズの変化」で前回とポイントの増減もなかった。5位は「販売単価の低下、上昇難」で5.2%であった。また、「仕入単価の上昇」2.6%で番外となっている。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前期比				
		今期	来期見込	H30. 10-12	H31. 1-3	H31. 4-6	今期	来期見込
業況	好転した	6.9	7.1	2.2	4.7	3.2	11.6	6.3
	不変	64.4	67.6	62.2	61.2	60.6	65.2	65.3
	悪化した	28.7	25.3	35.6	34.1	36.2	23.2	28.4
	D・I	▲ 21.8	▲ 18.2	▲ 33.4	▲ 29.4	▲ 33.0	▲ 11.6	▲ 22.1
売上(収入)額	増加した	19.2	12.6	12.2	14.1	21.2	29.8	
	不変	43.3	52.4	40.8	40.2	41.3	39.4	
	減少した	37.5	35.0	47.0	45.7	37.5	30.8	
	D・I	▲ 18.3	▲ 22.4	▲ 34.8	▲ 31.6	▲ 16.3	▲ 1.0	
資金繰り	好転した	3.9	3.9	2.1	2.2	3.0	7.8	
	不変	73.8	76.5	72.9	78.0	75.0	74.6	
	悪化した	22.3	19.6	25.0	19.8	22.0	17.6	
	D・I	▲ 18.4	▲ 15.7	▲ 22.9	▲ 17.6	▲ 19.0	▲ 9.8	
仕入単価(材料等)	上昇した	34.0	33.7					
	不変	59.2	60.4					
	低下した	6.8	5.9					
	D・I	27.2	27.8					
採算(経常利益)	好転した	7.8	5.9					
	不変	64.7	68.4					
	悪化した	27.5	25.7					
	D・I	▲ 19.7	▲ 19.8					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

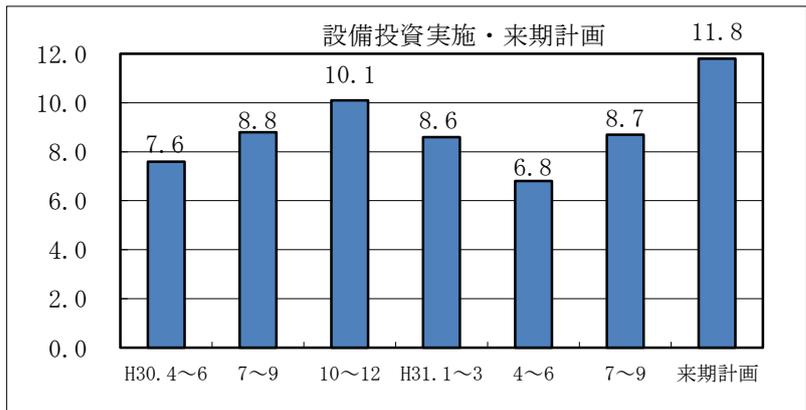
回答103事業所の内、9事業所(8.7%)が実施。

- 建物=5事業所、●サービス=3事業所
- 車両・運搬具=各3事業所、●付帯施設=2事業所、●OA機器=1事業所

【来期計画内容】

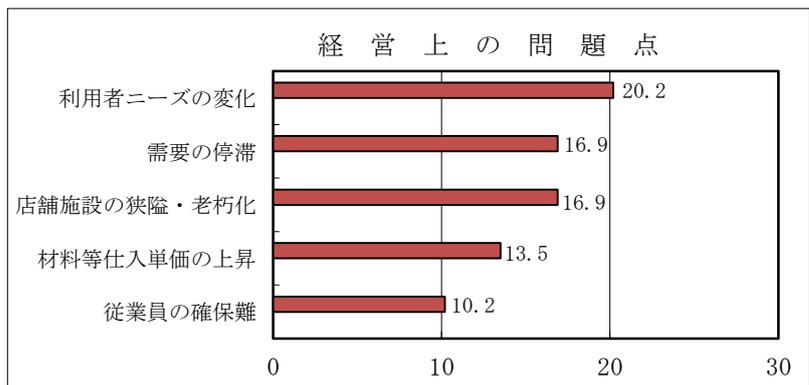
回答102事業所の内、12事業所(11.8%)が計画。

- サービス=5事業所、●建物=4事業所、●付帯施設、その他=各2事業所、●車両・運搬具、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

今回の1位「利用者ニーズの変化」で3.2ポイント増加した。2位も前回同様「需要の停滞」だが、0.1ポイント減少した。3位の「店舗施設の狭隘・老朽化」は前回13.6%より3.3ポイント増加している。4位「材料仕入単価の上昇」は前回13.5%からポイントの増減はなく、5位「従業員の確保難」は前回6.8%から3.4ポイント増加している。前回5位の「大企業の進出による競争の激化」は5.6%で番外となっている。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

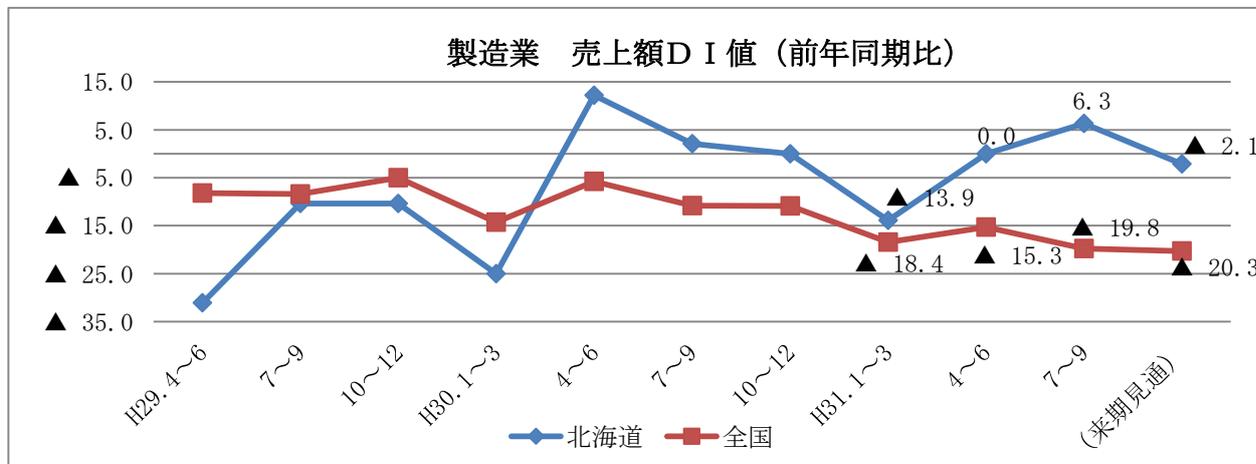
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

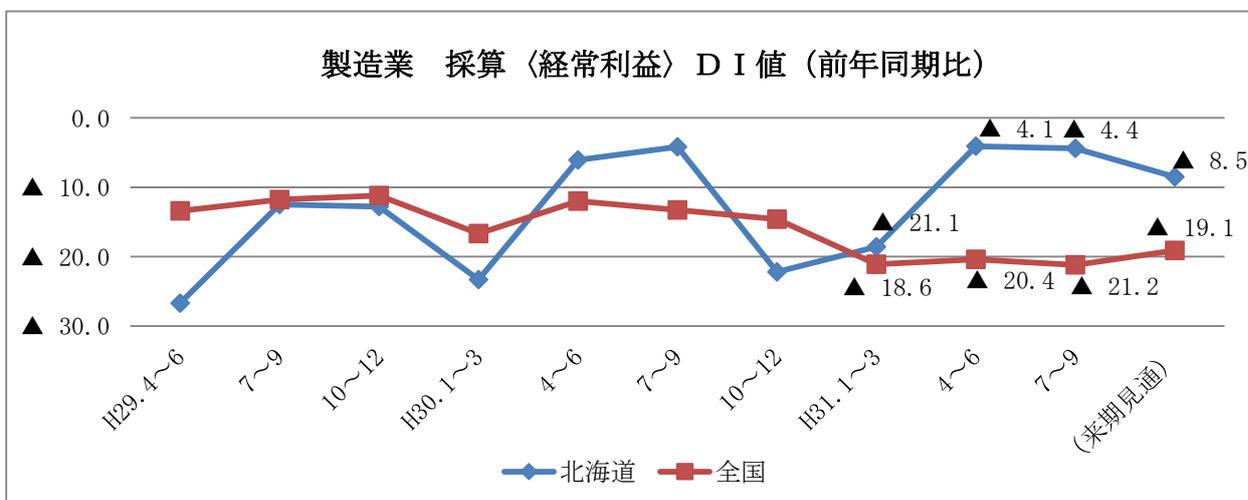
【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・増加、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・増加
(見込)売上額▲DI値・・・増加、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・横ばい

【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

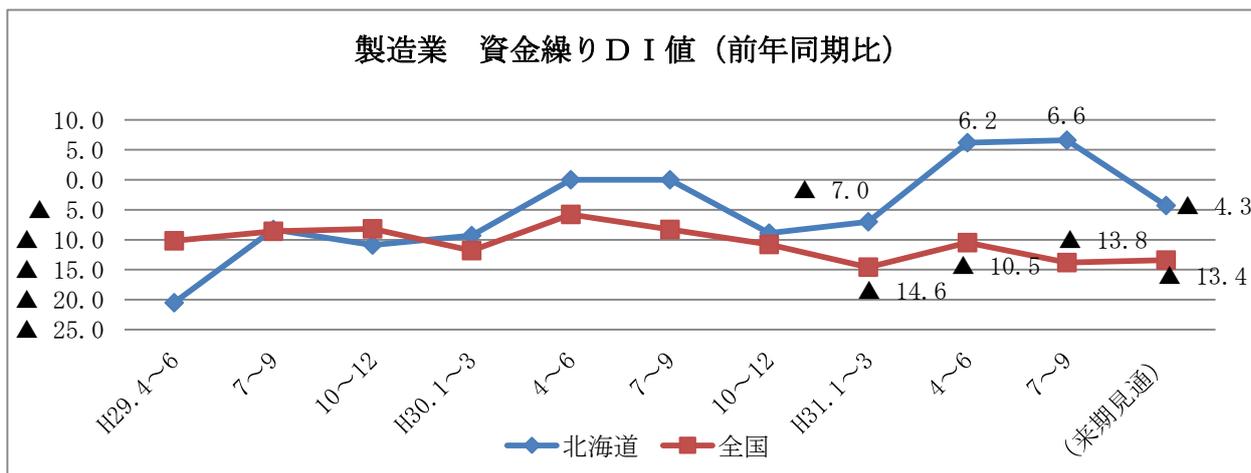
売上額



採算



資金繰り

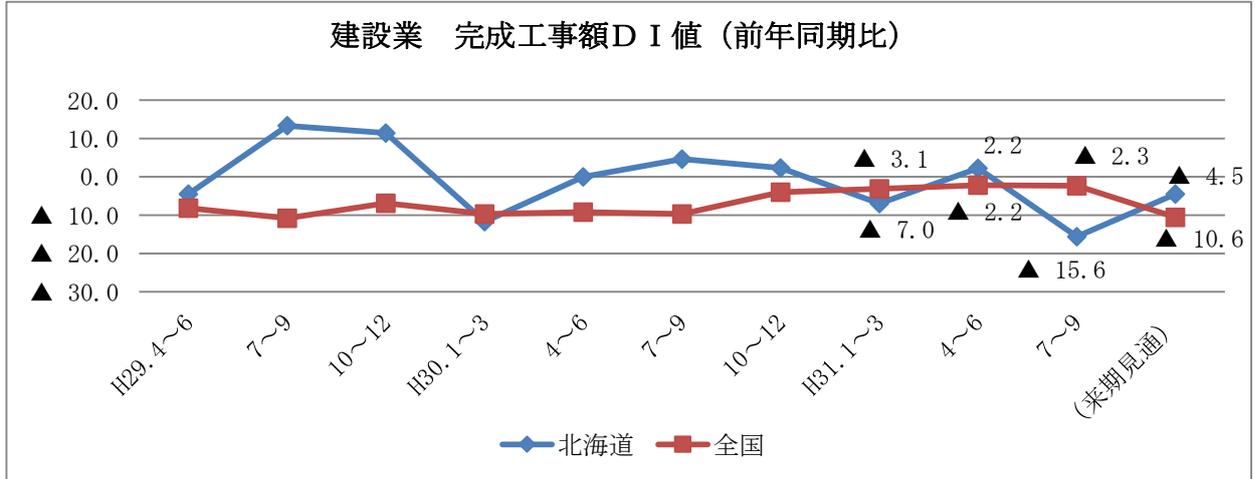


建設業

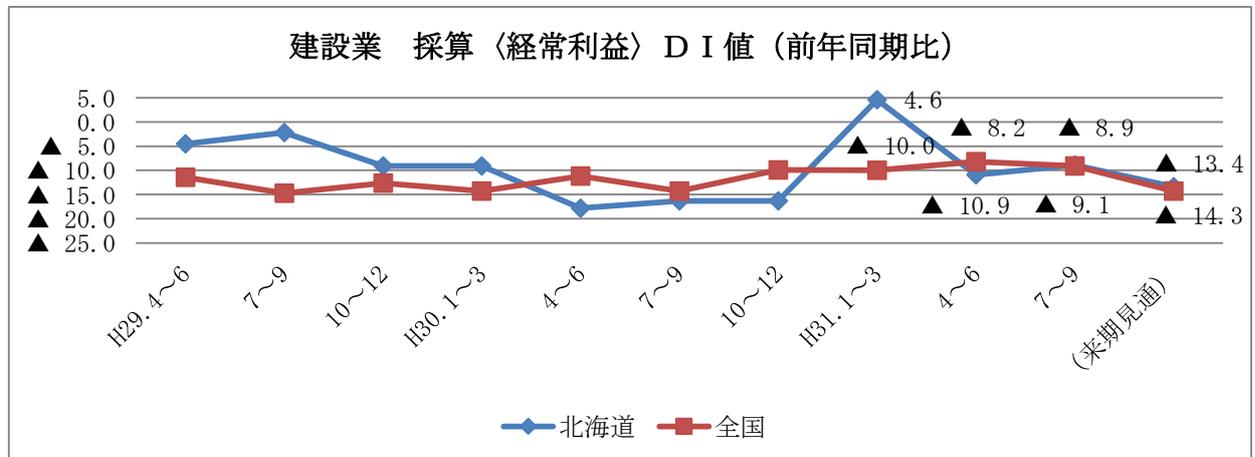
【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

【全国】(今期)売上額▲DI値・・・増加、採算▲DI値・・・増加、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・横ばい

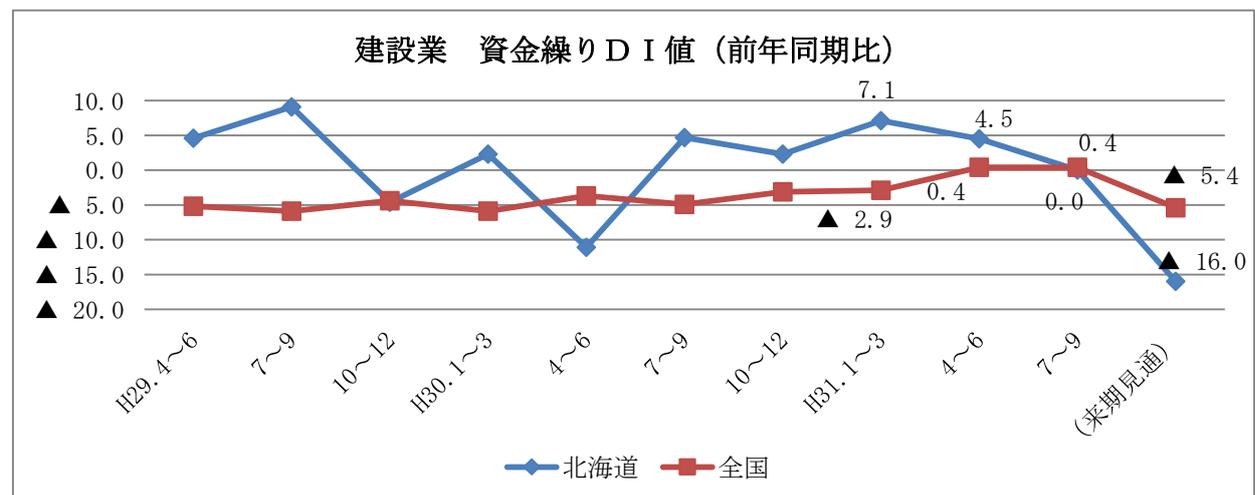
完成工事額



採算



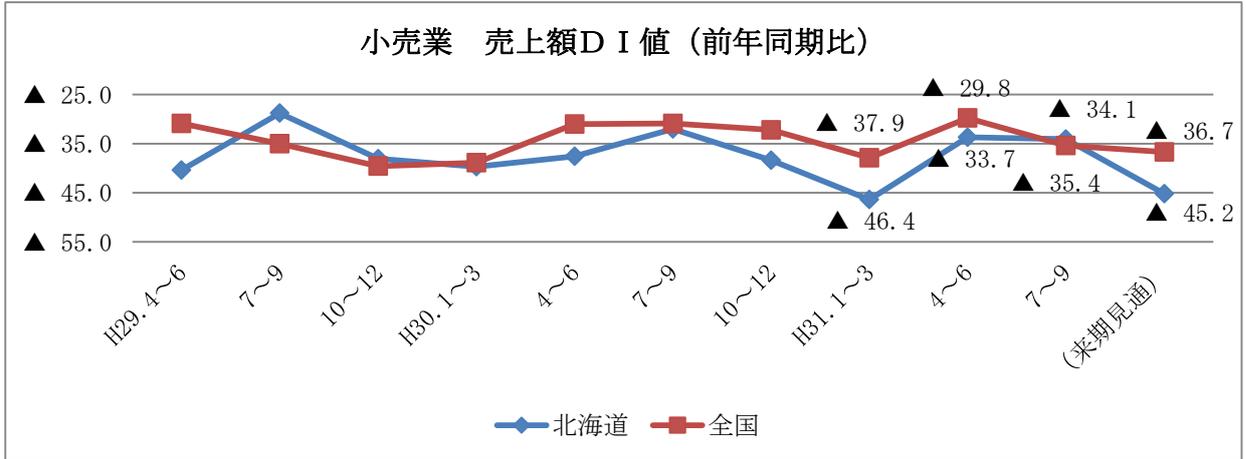
資金繰り



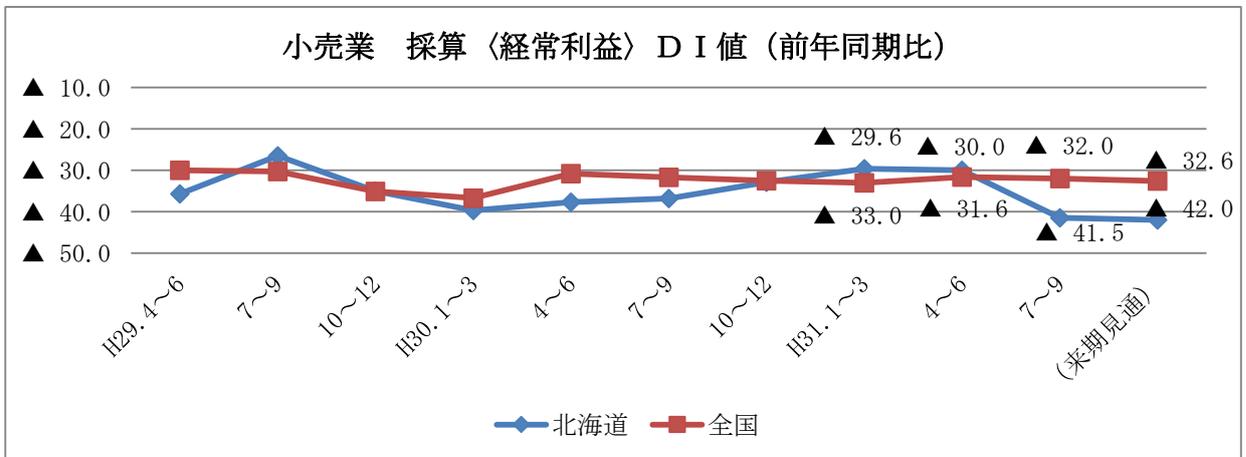
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・増加
 【全 国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・増加、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

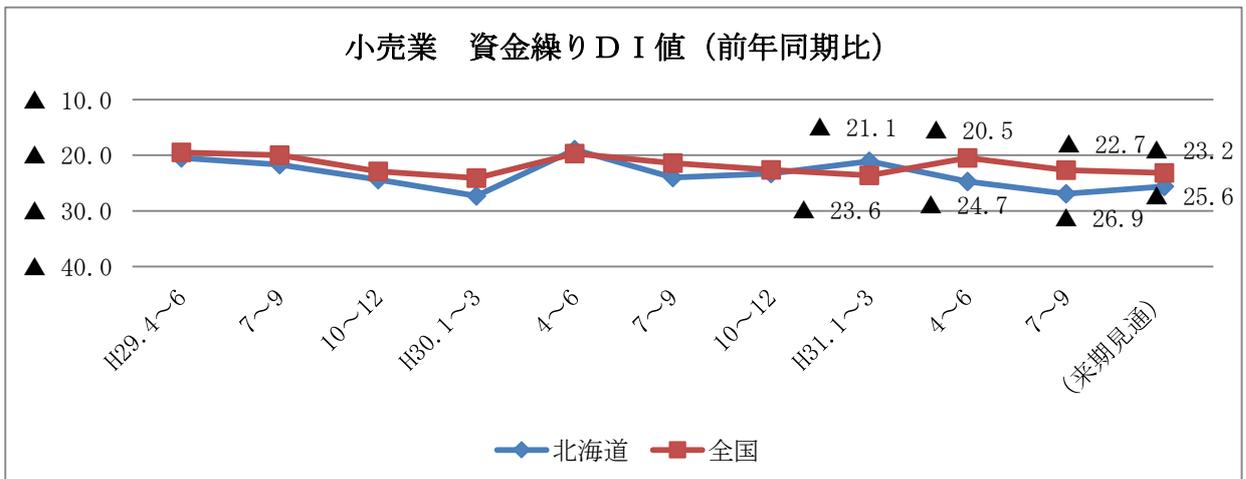
売上額



採算



資金繰り

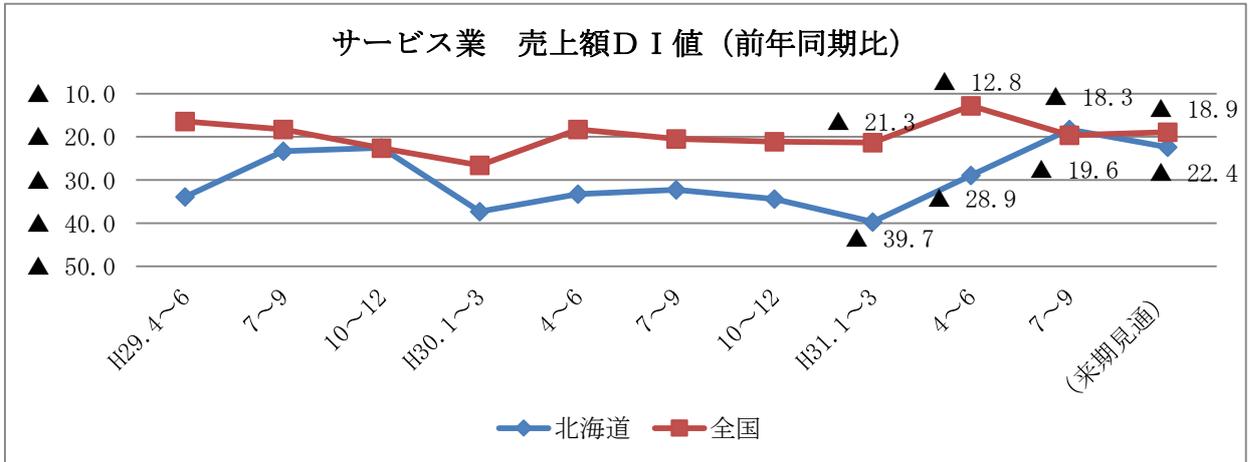


サービス業

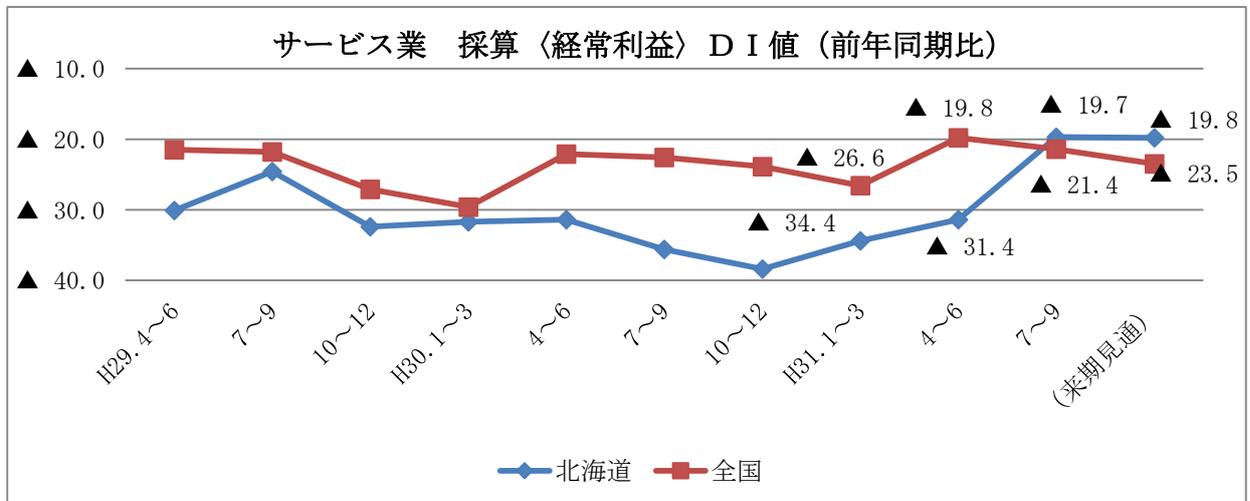
【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・横ばい、採算▲DI値・・・増加、資金繰り▲DI値・・・横ばい
 (見込)売上額▲DI値・・・増加、採算▲DI値・・・増加、資金繰り▲DI値・・・増加

【全国】(今期)売上額▲DI値・・・横ばい、採算▲DI値・・・横ばい、資金繰り▲DI値・・・横ばい
 (見込)売上額▲DI値・・・横ばい、採算▲DI値・・・増加、資金繰り▲DI値・・・横ばい

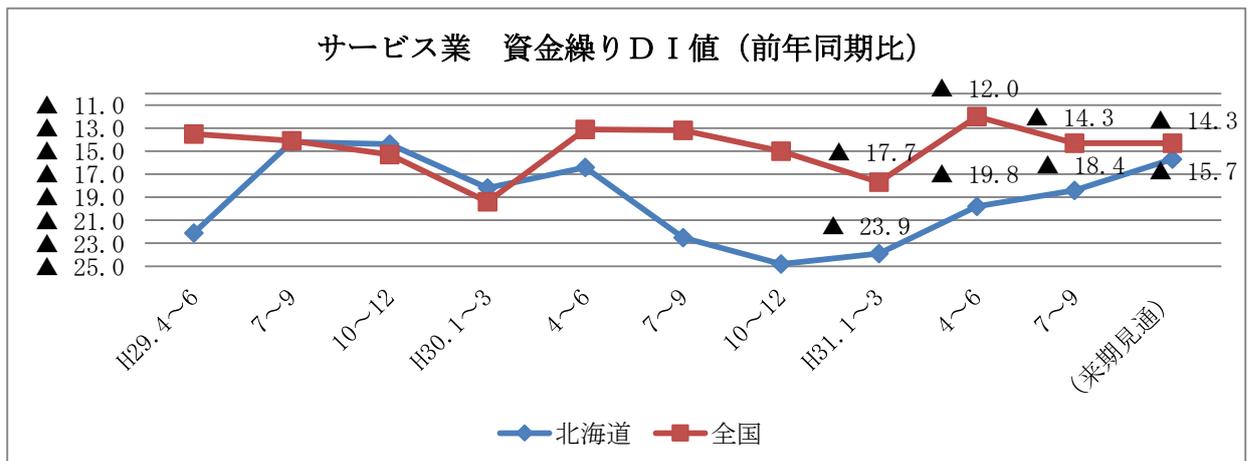
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>●景況は活発ですが、問屋への支払いが多くてかえってマイナスです。もう少しもうけたいところですが。●依然として厳しい状況です。人件費も最小人数まで削減しました。経費を削る事より、納入先の単価アップや新規開拓や物作り体験など、今まで行っていなかった営業を行う時がきています。●売上げの多くは町内外の顧客により安定している。しかし世間の人々同様、10月からの消費増税での業況の悪化を不安視している。●軽減税率の導入で、資材の値上がりの分が食品であることで上乘せしにくく、10月以降は大変になると思っています。●消費税が運賃、資材などが10%なる製品に転換するのが困難であり、受注数の減少になってきている。大手メーカーとの競争に対応できず原材料が今年は大幅の減少になるため経営に不安がある。●売上低下ではあるが、人件費削減により資金繰りが上手くいく様相である。但し設備老朽化や熟練工の脅威が課題である。●当社の取扱から、魚種が多く業績が好転してきた。今後の漁獲が心配。</p>
建設業	<p>●上半期は天候が良く工事出来高が上がり、収益の増加が有りと思います。その反面人件費、下請価格の上昇により、今後の天候不順が収益に作用するのが懸念される。●なかなか従業員を募集しても集まらない状況で困っております。●店が減ったのにお客様の流出とインターネットあとは天気。●工事の引き合いは相変わらず多く、自社請負は天候の影響も少なく工程の進捗率は良好であるが、消費税の増税とオリンピック後の景気の低迷が見込まれるため、新規従業員の確保と機械設備投資の懸念が焦心苦慮している。●事業主が病気で入院し、受注が減り工事の時間は2倍になり、大きな工事は外注しなければならなくなった。また、板金事業をやめたと思われている。●10月からの消費税増税で業者関係の人はどういう風になるのかわからないという事でとっても心配しています。●1番の問題点は従業員の不足であり、人手不足により仕事の受注を控えなければいけない問題にきています。人件費の増加と材料価格の高騰により、経営に悪影響を与えている。その解決策が見当たらないのも問題である。</p>
小売業	<p>●10月の消費税増税後の購買力の低下、軽減税率による混乱。●慢性的な人手不足と最低賃金の賃上げ等、従業員を確保する為の経費の増加が厳しい状況。ニセコ地域の特殊な環境への対応が難しい。●消費税増税の影響があり、より売上は低下すると思う。●いきなり気温が上がり、30度超えが数日間続いた後は寒い位の温度差で目まぐるしい日々です。前回同様、お得意様はデイサービス、ケアハウスへの入居等々減る一方です。こんな状況のままでは先行き不安です。</p>

サービス業

●お客さんが減少し新規が伸びないので、現在来店されているお客さんに付加価値をつけ、それが口コミで広がるのに期待。●事業所関係の固定客の増加。●家族でやっている店なので、病気やけがで休まなくてはいけなくなってきた。まわりに店が少なく昼だけやたら混んで、いつも追われている。店が増えないのは、儲からないから誰もやらないだろう。仕入れが高い。●高齢化（利用者も事業主も）●消費税10%になる10月からの売上が気になる点ではある。●あまり大きな変動はないが、経営体制、今後の方向性について検討が必要な時期に入っている。10月からの消費税の対応も検討が必要で、キャッシュレス対応も考える時期で、重要な時期であると思っている。●利用客数は増加しているが、客単価は下がっています。季節的な物や、消費増税など上昇する状況でもないのに、増加した客数をキープ出来るような工夫が必要だと思います。●大手との取引先の仕事が減少する可能性があるため、来期の見通しは悪化する予想である。●前期に仕入上昇により値上げしたため、やや客層に変化があり、売上の低下に繋がったのではないかと。●一応今のところは安定している。固定客が中心なので消費税に影響される客はわずかだと思われる。10月以降は特に注視していきたい。●若い人の当業界サロンから美容への流出での客数の減少等々。熟練技術者の確保が困難。●新規店舗オープンするにあたり、売上高の見込の予想通りいくかどうか不安材料であるが、ニーズに合わせた接客を進めていく事が大切だと感じている。